

ご挨拶

加藤源蔵……………1

発刊に寄せて 東京都農業協同組合中央会 会長 阿川 一……………2

発刊に寄せて 東京あおば農業協同組合 前組合長 橋本晴夫……………3

第1部 今神の里の農家に生まれて

むらの歴史は室町時代から……………8

地名の由来を探る……………8

加藤家のルーツを探る……………11

加藤家のシンボル、長屋門……………13

代々つづく篤農家の家柄……………17

江戸期から伝わる篤農家の気風……………17

戦前・戦後の農業に生きた両親……………20

ガキ大将、中学で柔道を志す……………22

戦争に翻弄された学生時代……………27

教練と徴用の日々……………27

学徒出陣、本土決戦に備える……………29

復員後に大学へ、そして就農……………32

長屋門をくぐって嫁に来てくれた……………34

*ともに生きて、いま夫を語る……………38

第2部 東京農業の基礎をつくる

若き農家のリーダーへ……………40

請われて農協理事、組合長に……………40

農協界の法律相談に尽力された深澤弁護士……………43

自らすすんで農業協同組合を学ぶ……………44

復員者が多かった農協の職場……………46

野菜づくりに結集した若者たち……………47

練馬青年農業振興会……………52

足食会で出会った指導者石黒忠篤、大平信彌……………52

浅沼稲次郎が新嘗祭の委員長に……………54

精魂込めてつくった野菜で宝船……………55

明治神宮農林水産物奉献会を設立……………57

思い出が湧く明治神宮と奉献会……………58

新嘗祭を支える東京農業の奉耕者……………61

大嘗祭に東京特産の庭積机代物を供納……………63

農業青年の組織・都青協の結成……………66

意気盛ん、農協青年部の盟友たち……………66

米軍占領下の沖繩を行く……………67

東京の特産品づくりに打ち込む……………72

絶えてしまった「練馬大根」……………72

日本農業賞を受賞、シクラメンの名人……………74

グラントカバーで天皇杯に輝く……………75

東京農業に寄与した種苗原種研究会……………77

オリンピック会場に菊を飾る……………78

東京の肥溜を撤去する……………80

美濃部都知事は統計学者！……………82

統計は産地づくりの基礎……………84

大根に代わってキャベツ産地を興す……………85

東京キャベツのプロモーション秘話……………88

キャベツの記念碑を建てる……………90

花卉農家の販売拠点、園芸センター……………	90
世田谷から始まった市民農園……………	91
江戸・東京の野菜を未来に！……………	92
練馬の麦で、練馬のビール！……………	94
切り拓く協同事業・交流活動……………	96

全国に先駆け、手形割引を実現…………… 96

*「JAバンク」につながる先覚的な取り組み…………… 98

未来を見据えて電算システムを構築…………… 98

書家で柳石、俳号は精考、農魂を詠った文化人…………… 101

「協同組合精神」を梃子に説得…………… 103

賀川豊彦の産業組合病院を目標に…………… 104

「組合員善意の碑」に刻んだ協同精神…………… 105

歴史的な宜野湾市農協との交流…………… 108

協同組合間協同で石黒会長と出会う…………… 111

第3部 農住都市をめざして

都市と農業の調和を築く…………… 114

「花の源ちゃん」大活躍！…………… 114

三木長官とも考えが一致…………… 116

「農と住の調和したまちづくり」を…………… 117

国政でも活躍した「農政」の同志たち…………… 119

*加藤源蔵議員、都議会で都知事への質問…………… 120

「宅地並み課税」に超党派で反対…………… 123

東京の上空から東京の農地を見る…………… 127

転機になった「土地は誰のものか」…………… 128

警視庁と消防庁への一括貸し住宅…………… 131

鎮魂と協同理念を求めて…………… 134

特攻に散った若き研究者の桜…………… 134

立教・新座高校に移植…………… 135

英霊の眠る島・硫黄島への思い…………… 138

返還後の小笠原に農協をつくる…………… 140

逆修養碑に触発されて…………… 144

協同組合精神に通じるお遍路の心…………… 146

一〇年を節目に、記念事業を挙行…………… 147

走馬灯の如く、思い出は巡る…………… 149

空海の思いを伝える福江島・三井楽の碑…………… 152

お遍路が織りなす、豊かな縁…………… 153

農民の守り神、佐倉宗吾…………… 155

昭和の暴政を正す！…………… 156

21世紀への農政改革のなかで…………… 158

野中広務の英断、都市農地を認知…………… 158

政界の首領たちとの出会い…………… 160

都市農業とJAを未来につなぐ…………… 164

全中副会長時代は地域づくり、人づくりに専念…………… 164

災害時も市民の味方、都市の農業空間…………… 165

ヨーロッパの都市景観に感動！…………… 166

東京「農の風景」フォトコンテスト…………… 168

次代の協同組合人へのメッセージ「共栄一路」…………… 169

美濃部都政時代からの縁が「童門塾長」を実現…………… 170

第4部 協同精神で結ぶ農民外交の足跡

少年期から育んだ日韓交流……………176

柔道で結んだ国境を越えた友情……………176

日本で初めての国際姉妹農協……………177

一隅を照らす者は国の宝なり……………178

韓国農協の生みの親……………179

「南北戦争」後の復興に尽力した人々……………181

「粗相があっちゃいけない!」……………183

日韓農協界の友好親善を結ぶ……………183

国際電話で、「おい、福田だよ!」……………183

練馬の日韓友好協会を結成……………186

加藤清正の子孫と間違われる!……………188

大盛会だったICA東京大会……………190

韓国農協中央会から「特別功労牌」を受賞……………191

「韓国一家賞」も受賞……………193

百済の流れをくむ妙見宮の再建……………194

神津島に眠るオタア・ジュリアに思う……………194

毛沢東時代からつくづく日中友好の輪……………197

「中国に行きたい!」……………197

文化大革命の中国に行く……………198

農業は大塞に学べ!……………200

東京都日本中国農業農民交流協会の設立へ……………201

米と花が結ぶ大連市との交流……………203

「アジアとの共生」で実効をあげる松食い虫対策……………205

「日本の種を買ってくれ!」……………206

中国の野菜ビジネスの仕組み……………208

モデルはヨーロッパのEU方式……………209

第5部 人々に感謝し人生を味わう

釣行の思い出、健康秘話……………212

子どもの時分からフナ釣り、ハゼ釣り……………212

フナやドジョウが減り、外来魚が増えた……………213

焼津、八郎潟、新潟も釣り歩く……………215

中国、韓国の釣り事情……………216

ところ変われば仕掛けも変わる……………217

九十八歳まで健康で喫煙!……………218

健康の秘訣は、よく歩くこと……………218

旭日中綬章を受章する……………220

受章者を代表してお礼の言上……………220

資料編

年譜……………224

文化活動実績……………234

「江戸・東京農業名所めぐり」説明板一覧……………236

掲載人名一覧……………238

*題字 明治神宮宮司 外山勝志書